

老年看護学方法論Ⅰ	2年・前期	2単位	准教授 石久保 雅浩
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210702

1. 授業のねらい・概要

本講義は、加齢に伴う身体機能の低下や心理・精神、社会的変化が及ぼす生活機能への影響を理解し、高齢者の生活機能、特に6つの機能を整えるための知識および基本技術を修得する。さらに、老年期を生きる人の健康保持増進およびQOLに向けた援助について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 高齢者の加齢に伴う変化が生活に及ぼす影響を理解する。
2. 生活機能のコアとなる6つの機能についての専門的知識・技術を理解する。
3. 老年看護学の基本技術を修得する。
4. 状況に応じた看護技術の提供を考えることができる。

3. 授業の進め方

授業内容は、6つのコアとなる生活機能、(コミュニケーション・食事・身じたく・排泄・活動・休息)を中心にアセスメントと看護ケアについて学ぶ。

4. 授業計画(講義)

1. 加齢によって起こってくる生活の変化	10. 排泄機能が低下した高齢者の看護
2. 正常老化と病的加齢変化	11. 活動と休息
3. コミュニケーション(言語障害 難聴)	12. 睡眠障害のある高齢者の看護
4. コミュニケーション障害がある高齢者の看護	13. 認知機能障害を持つ高齢者の看護
5. 食生活(食事摂取, 嚥下障害など)	14. 高齢者の社会参加
6. 摂食嚥下障害等のある高齢者の看護	15. 老年期の経済状況・まとめ
7. 身じたく(清潔, 整容, 身だしなみ)	
8. 清潔援助が必要な高齢者の看護	
9. 排泄(排尿・排便)	

5. 成績評価の方法・基準

定期試験(受験資格は3分の2以上の出席をした者)100%

6. テキスト・参考文献

教科書: 1) ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学① メディカ出版
2) ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学② メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間, 又はそれに準じる程度の具体的な内容

指定された範囲の予習を毎回1時間は行うこと。

8. 受講上の留意事項

遠隔授業: リアルタイム型の場合は、時間割の時刻に授業を受けられる体勢を取ること。
オンデマンド型の場合は、1回分の内容を最後まで見ること。

対面授業: 遅刻, 欠席ならびに授業中の私語, 許可の無い教室の出入り, 授業に関係ない言動は慎む事。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験直後口頭でフィードバックするか, 後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり, 修得できない場合は進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして, 講義を行う。